

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ~ +85℃ (90%RH 以下)	保存温度範囲	-40℃ ~ +85℃ (90%RH 以下)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50Ω ( 0 ~ 30 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
<b>性 能</b>					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外觀, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	10 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネク 20 mΩ以下 外部コネク 10 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC 250Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流 2 mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比 $\square$	周波数 0 ~ 15 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下	○	○
		周波数 15 ~ 20 GHzにて測定する。	VSWR 1.4 以下	○	○
		周波数 20 ~ 30 GHzにて測定する。	VSWR 1.5 以下	○	○
挿 入 損 失	周波数 ~ GHzにて測定する。	---dB以下	—	—	
機 械 的 性 能	単体挿抜力	$\phi 0.495_{-0.005}^0$ の鋼製ピンで測定する。[H2.4側]	差込力 ---N以下	—	—
			引抜力 0.2~1.0 N	○	○
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 ---N以下	—	—
			引抜力 ---N以上	—	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネク 25 mΩ以下 外部コネク 15 mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 ---~--- Hz, 片振幅 --- mm, 加速度 ---m/s <sup>2</sup> で ---軸方向各 ---時間 試験する。	① ---μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	—	—
—				—	
耐 衝 撃 性	加速度 ---m/s <sup>2</sup> , 持続時間 ---ms, 正弦半波 ---軸方向各 ---回試験する。		—	—	
ケーブルクランプ部の 引っ張り強度	---mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引っ張り, 最大荷重を確認する。	最大荷重 ---N以上	—	—	
環 境 的 性 能	耐湿性 (定常状態)	温度 +40 °C, 湿度 95 %中に 96 時間放置する。	① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -40 → 5~35 → +85 → 5~35 °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	電圧定在波比規格を満足すること。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考	注 $\square$ VSWRはC.FLJ-H2.4P (CL311-0017-0)と嵌合させて測定した値です。			承認	TS. NOBE 20200603
				検 図	NK. NINOMIYA 20200603
				担 当	TK. SAWAGUCHI 20200603
				製 図	TK. SAWAGUCHI 20200603
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	ELC-379942-00-00	
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	C. FLP-H2. 4J	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0021-0-00	△ 1/1